

第26回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成25年12月

応募者名：石川県土木部都市計画課

事業の名称：都市計画道路宇野気ふれあい通り線
街路事業

実施都市名：石川県かほく市宇野気

事業目的

都市計画道路宇野気ふれあい通り線は、JR宇野気駅にアクセスする主要な道路であるが、幅員が狭く、歩行者や自転車が安心して通行できない状況となっている。

さらに、郊外に大型商業施設の立地により、購買客が流出し、駅前中心部の活力や賑わいが低下している。

このことから、街路整備の実施に伴い、安全・安心な道路空間の確保と沿道の賑わい創出を図ることを目的とする。

事業概要

事業名称：都市計画道路宇野気ふれあい通り線 街路事業

路線名：都市計画道路宇野気ふれあい通り線

事業箇所：石川県かほく市宇野気

事業延長：L＝450m

幅員：W＝14m

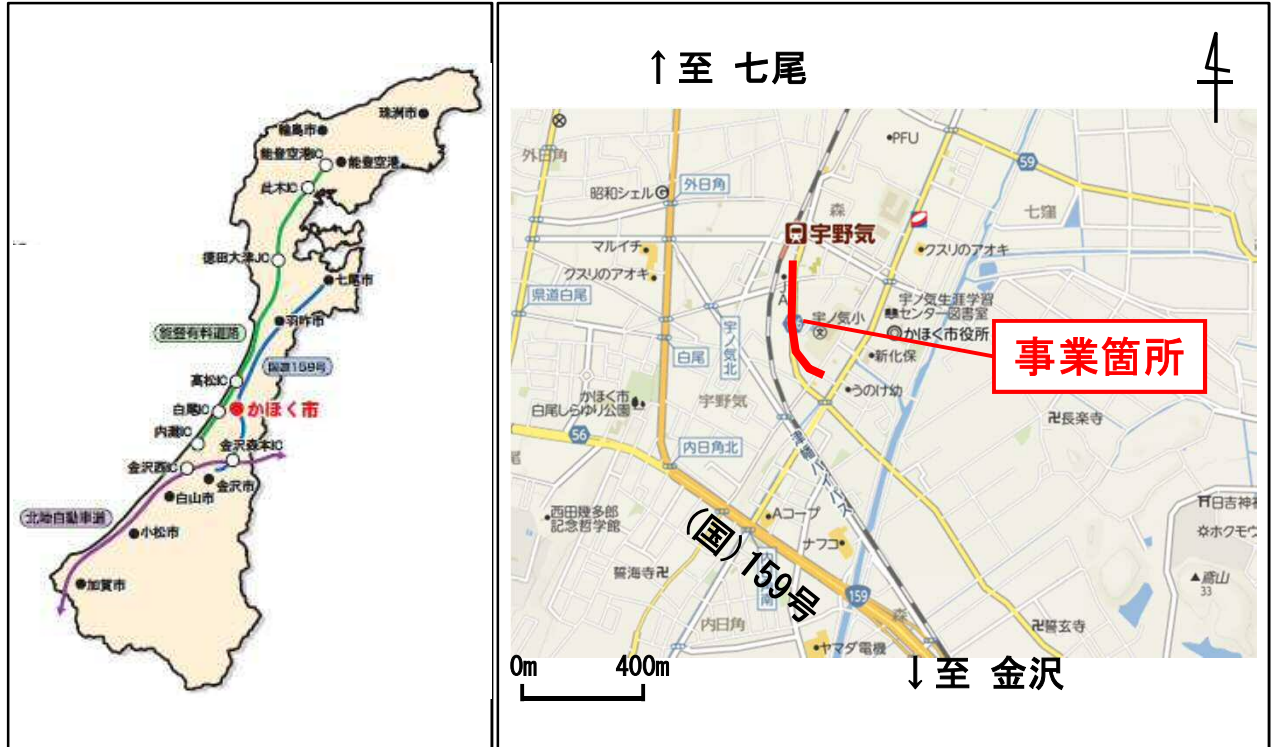
事業費：2,042百万円

事業実施期間：平成10年～平成24年

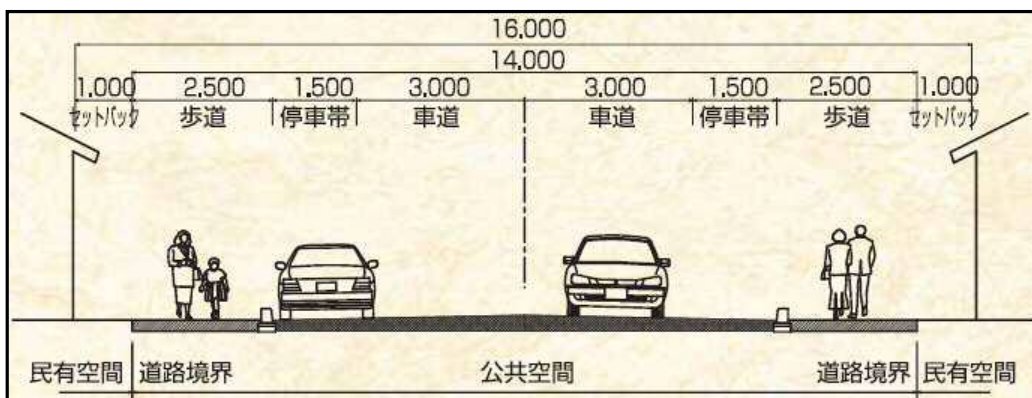
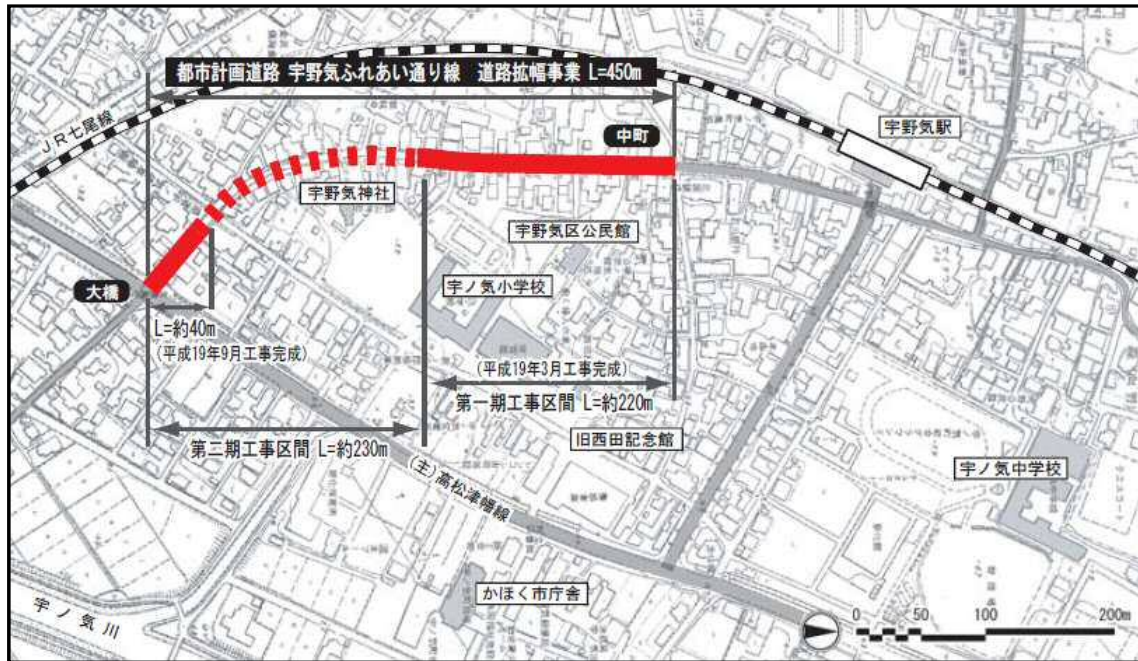
歩行者、自転車の安全確保と賑わい空間創出に寄与するため、沿道アクセス性を高める停車帯、沿線地権者と協力を得て建物のセットバックにより、ゆとりある歩道空間、街路樹による緑化など、安全・安心でゆとり潤いのある街路空間の整備を実施した。

「温もりが伝わるみち」を基本方針に、歩道舗装に暖色系ブロック舗装、道路照明や地元街灯には黄色(LED)を使用した。また、道路に愛着を持ってもらうため、地元の宇ノ気小学校6年生が製作したレリーフを歩道に埋め込み、地元の方々に愛される街路空間ができた。

事業位置図

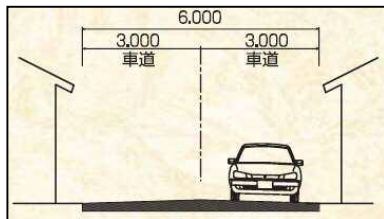


全体図(平面図・側面図・横断面図)

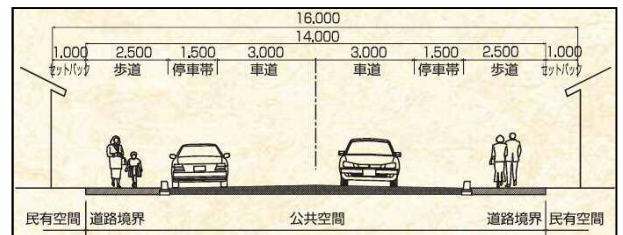


宇野気ふれあい通り線の整備効果アピール資料

●歩行空間と円滑な交通確保



整備前



整備後

●まちなみ景観の向上



「まち育て協定書」によって統一感のある
まちなみ



「ふれあい小公園」
(ワークショップ(協議会)で考えられた公園)



イルミネーション
(冬期)



官民境界



歩道舗装レリーフ
(小学生が作成)

●賑わい創出のまちづくり活動

民有地の利活用
(ゆとりある空間の確保)

春



ふれあい通り街角花作り

夏



ふれあい通り子供ギャラリー

冬



ふれあい通りイルミネーション

事業前写真

平成5年7月撮影



事業前写真1

平成5年6月撮影



事業前写真2

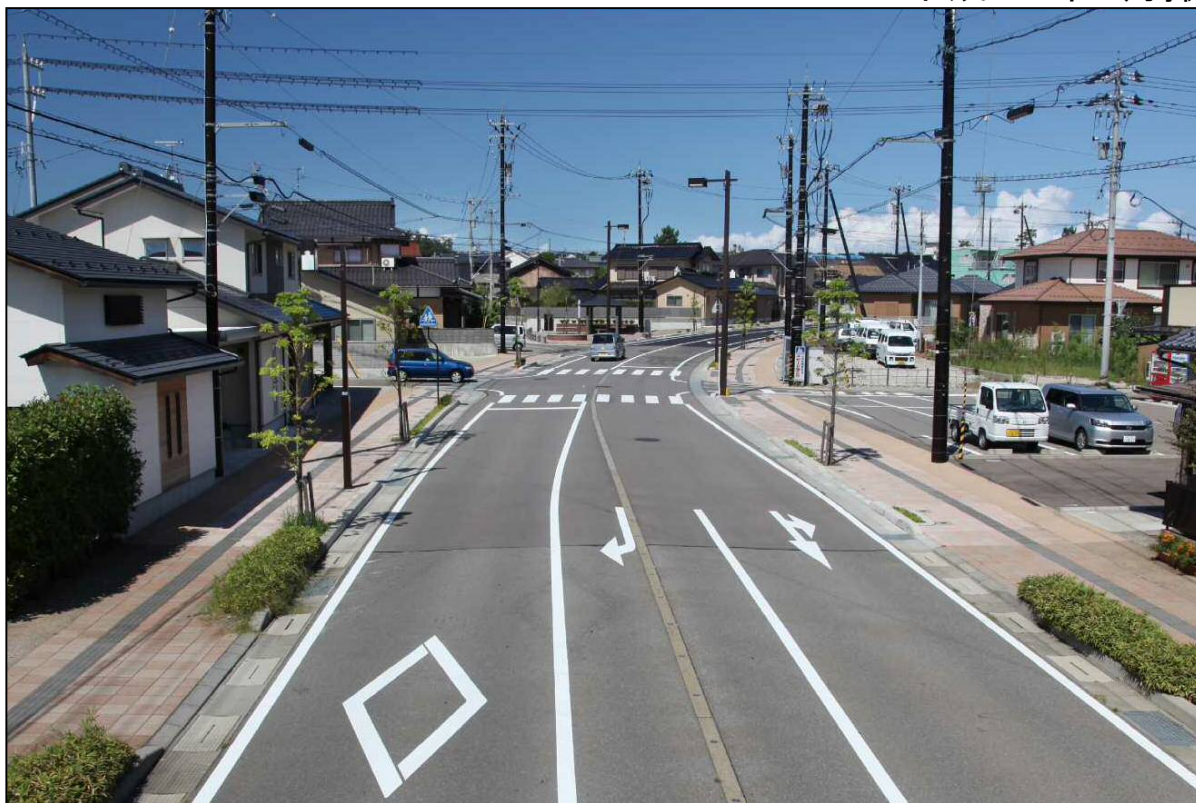
平成5年7月撮影



事業前写真3

事業後写真

平成24年9月撮



事業後写真1

平成20年9月撮影



事業後写真2

平成24年9月撮影



事業後写真3